

WISS2025 開催にあたって

塚田 浩二*

本論文集は、日本ソフトウェア科学会インタラクティブシステムとソフトウェア (ISS) 研究会が主催し、2025 年 12 月 03 日 (水) から 12 月 05 日 (金) にかけて、定山溪ビューホテル (北海道札幌市南区定山溪温泉東) で開催される「第 33 回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ」(Workshop on Interactive Systems and Software: WISS2025) での発表をまとめたものです。

WISS は、伝統的に 2 泊 3 日の泊まり込み形式で開催されており、例年 150 名以上の参加者が朝から深夜まで深い議論を行ってきました。Covid-19 のために、オンライン／ハイブリッド開催された年もありましたが、WISS2025 では約 250 名が参加して現地開催されます。

昨年の WISS2024 では、「開かれた WISS」を目指して、「登壇発表種別をショート枠相当に統一」「ロングティザー発表の廃止」等の様々な整理を行いました。こうした整理は、参加者フィードバックでも概ね好評でしたので、WISS2025 では大きな変更はせず、昨年の方針を踏襲しています。

WISS2025 では、「登壇発表」「国際学会招待発表」「デモ発表」「WISS Challenge」の四つのカテゴリの発表が行われます。

登壇発表には、各論文に対して 4 名の査読者 (内プライマリ査読者 1 名) を割り当てて査読を行い、採否判定会議での議論を経て、37 件の投稿に対して 24 件の論文を採択しました。できるだけ多くの論文を採択・議論するために、一部の論文は条件付き採録とし、査読者と著者による修正プロセスを経て、完成度を高めています。登壇発表の論文は、本予稿集に採録理由と併せて掲載しています。

国際学会招待発表には、11 件の投稿があり、いずれにも利害関係のない 4 名の審査員による審査を行いました。その結果、5 件の登壇発表／5 件のデモ発表が招待発表として実施されます。CHI/UIST 等のトップカンファレンス論文を中心に、研究内容はもちろん、採択までの道筋等の有用な知見も共有頂けると幸いです。

デモ発表については、近年締切より大幅に前に発表枠が埋まり対応に追われる状況が続いており、昨年途中から導入した方針を最初から示すことで、混

乱を未然に防ぐように配慮しました。具体的には、募集時の発表枠の制限を撤廃して、(1) デモ発表の申し込み件数に応じてデモ会場を増設する、(2) 増設で対応できない程多くの投稿があった場合のみ、追加審査を行い採否を決定する、という方針です。今年も (関係者の尽力により) 会場の増設のみで対応でき、124 件のデモ発表を採択しました。これと先の 5 件の招待発表に加えて、19 件の登壇デモ (登壇発表される論文のデモ発表) や、7 件のスポンサー展示を含めて、3 日間で 155 件の発表が行われます。

WISS Challenge は、学会での議論や交流等を活性化するシステムを募集するユニークなカテゴリであり、今年は 4 件の論文 (企画) が採択され、学会中に運用されます。

さらに、「WISS から広がる道」と題した特別講演を行います。過去に WISS で登壇発表され、HCI 関連分野で博士号を取りつつ、現在は多様な分野で活躍される 4 名の講演者 (小松 弘幸氏、小室 真紀氏、門村 亜珠沙氏、神原 啓介氏) をお招きして、過去の WISS での発表内容や現在の仕事、さらにインタラクティブ分野の研究経験がどのように「現在」に繋がっているか等をお話し頂きます。こうした発表・議論を通して、特に学生の皆さんに、WISS から広がる未来の可能性を考えるきっかけとなればと思います。

WISS2025 は、20 年以上振りの北海道開催となり、交通の便等を踏まえて昨年より小規模になると予想していたのですが、結果的には参加者数／デモ発表件数共に昨年を上回る規模となり、コミュニティの拡大を肌で感じています。私事となりますが、私が初めて北海道を訪れたのは、前回の北海道開催となる WISS2002@函館大沼であり、その後縁あって、はこだて未来大の教員となりました。実は教員になる以前はこの一度しか北海道に来たことがなく、WISS が繋いだ縁といえるかもしれません。この WISS2025 での体験／出合いが、多くの人の未来に価値あるものになればと思います。

最後に、登壇発表をはじめとした全ての発表にご投稿頂いた皆様、スポンサー企業の皆様、協賛学会関係者の皆様、WISS2025 のプログラム委員／運営委員の皆様に深く感謝いたします。

* 公立はこだて未来大学、WISS2025 プログラム委員長